

株式会社佐藤組 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年3月1日

株式会社佐藤組
代表取締役 佐藤 尚士

- ◆経営方針
社業を通じて社会的責任を果たし、地域社会に貢献する
- ◆目指す姿
社員と会社、そして地域社会が、ともに幸せを分かち合える企業

SDGsの達成に向けた取り組み

地域社会への貢献

社業を通じて、脱炭素社会実現へ積極的に貢献します。自社で今まで積み上げた技術力を最大限活用し、建設業関連での就業を目指す学生の教育に貢献していきます。地域産の材料を積極的に活用し、地産地消を推進します。

<具体的な取り組み>

再生可能エネルギーに関する取り組みへの積極対応／インターンシップの積極的な受入の継続／地域産の木材を使用した構築物の建設

— 関連ゴール —



事業品質の確保と顧客満足度の向上

発注者に対して、満足頂ける工事の品質を提供します。未来を支える人々に安心して使い続けてもらえる構築物の建設を行います。従業員のコンプライアンス意識の向上を図ります。

<具体的な取り組み>

ISO9001規格の継続的な取得による高品質な工事の安定的な提供／業務に関わる最新の法令の改正・新規制定の情報収集によるコンプライアンス遵守の徹底

— 関連ゴール —



労働環境の整備

社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児・介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。一体感のある経営を目指して、社員の声を積極的に取り入れ、社員満足度の向上を図ります。

<具体的な取り組み>

育児・介護関連諸制度の整備や休暇取得しやすい風土づくり／社員満足度調査の実施／社員提案制度及び報奨制度の推進

— 関連ゴール —



環境保全への取組

自社で排出する廃棄物の削減を行います。自社のCO2排出量の把握と効果的な削減計画の策定及び実行を目指します。CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。

<具体的な取り組み>

書類電子化によるペーパーレス化の推進／エアコンの適切な使用、温度設定による節電の実施／ハイブリッドカー・電気自動車の導入／従業員の環境意識向上を目的とした教育・研修の実施／中小企業SBTへの参加

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

